

information

第 21 回 医師のための母乳育児支援セミナーのご案内

- テーマ 母乳育児支援が未来につなぐもの母子の健康と地球の持続可能性

- 大会長からのメッセージ

国連児童基金（UNICEF）は「母乳育児は自然で本能的な行為ではありますが、成功させるためには学ぶ必要があります」とし、母親が母乳育児を確立し維持するためには、積極的な支援が必要であるとしています。そして世界保健機関（WHO）は妊娠中、出産直後の数日、分娩施設退院時、補完食開始時、職場復帰時を含む少なくとも6回の、母乳育児支援者からの支援を受けることを推奨しています。

今年も医師のための母乳育児支援セミナーで、新しく赤ちゃんを迎え入れるご家族の支援に必要な知識とスキルをとにも学びませんか？

（山本和歌子 桑名市総合医療センター小児科医・IBCLC）

- 日 時 2026年10月24（土）・25日（日）

- 開 催 現地（東新宿予定）+ライブ配信

（約2か月間オンデマンド配信あり）

- 参加申込・詳細

JALC 公式サイトから <https://jalc-net.jp>

▶学習会情報▶ JALC 主催学習会

（参加申し込みは夏に開始予定）

<JALC サイト>



- 対 象 医学生・歯学生、研修医、小児科医・新生児科医・産婦人科医・家庭医、母乳育児支援を基礎から応用まで学びたいあらゆる医師・歯科医師

- プログラム

10月24日 12:30 開場・Zoom入室開始

13:00-14:00『母乳育児がうまくいくための10のステップと実践のためのスキル』

小児科医・医学博士・IBCLC 山本和歌子

14:00-15:00『母乳育児のための産前準備』

産婦人科・IBCLC 桑間直志

15:15-16:15『母乳育児の旅のはじまりを支援しよう！一周産期施設での母乳育児支援』

小児科医・IBCLC 山口直人

16:15-17:15『栄養価の高い補完食・離乳食とは？』

新生児科医・IBCLC 早田茉莉

10月25日 8:30 開場・Zoom入室開始

9:00-10:00『退院後の母乳育児の持続支援：混合栄養のフォローと職場復帰の際のサポート』新生児科医・IBCLC 呉 東祐

10:00-11:00『身体疾患（耐糖能異常・妊娠高血圧症候群：HDP・甲状腺・悪性腫瘍など）を有する女性の母乳育児支援』産婦人科医・IBCLC 山下有加

11:15-12:15『NICUでの母乳育児支援（早産児・口唇口蓋裂児の直接授乳支援を中心に）』

新生児科医・IBCLC 新藤 潤

13:15-14:15『新生児の栄養選択における医師の役割と意思決定支援』

小児科医・IBCLC 和田友香

看護師・助産師・IBCLC 迫田真由美

14:15-15:15『母乳育児支援と健康の商業的決定要因—より公正で持続可能な社会を次世代に手渡すために』

小児科医・IBCLC 名西恵子

【IBLCE 教育単位および各学会研修単位の申請を予定】

Academy of Breastfeeding Medicine フェロー資格申請単位

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会（IBLCE）継続教育単位

日本周産期・新生児医学会 専門医資格認定単位・更新単位（新制度）

日本専門医機構産婦人科領域講習単位、日本産婦人科医学会研修参加証

日本小児科学会 新専門医更新単位小児科領域講習（現地受講、ライブ受講のみ）

日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医更新のための単位

日本医師会生涯教育単位

【お問い合わせ】

第21回医師のための母乳育児支援セミナー運営事務局

〒162-0833 東京都新宿区笹岡町43 新神楽坂ビル2階（有）ビジョンブリッジ内

メール：jalc@supportoffice.jp

電話：03-5946-8575（受付時間平日 10:00～17:00）